

《 経済建設常任委員会所管事務調査報告書 》

1. 調査年月日

令和2年10月7日（水曜日） 午後1時30分～午後4時30分

2. 所管事務調査項目

- (1) 北部環状線について【都市建設部都市施設課】
- (2) 土と火の里公園について【経済部商工観光課】

3. 調査選定理由

- (1) 北部環状線について

北部環状線は、慢性化している主要地方道藤岡本庄線の渋滞が緩和され、市内の交通網の充実が期待できる事業である。

事業認可が平成23年度から令和4年度の12年間となっており、2年後には供用開始予定となっていることから、この事業概要と工事の進捗状況、また今後の予定について調査及び現地確認を行った。

- (2) 土と火の里公園について

土と火の里公園は、平成5年7月に開園し、市直営による運営が行われ、平成21年4月より、指定管理者制度を導入し、「土と火の里工芸会」による運営が行われてきた。平成30年度より、再び、市直営による運営が行われているが、今年度、指定管理者を募集したことからその募集状況と今後の運営方針等について、また、新型コロナウイルス感染症の影響について調査および現地確認を行った。

4. 調査内容

1、北部環状線について

(事業概要)

北部環状線は、都市間の移動・物流強化の基盤整備により工業誘致の促進など、産業振興に寄与し、また、市街地の交通混雑の緩和、地域の利便性向上を目的として計画された。

- (1) 事業経緯 事業立ち上げから現在までの経緯（時系列）

- ・説明会 平成20年11月27日（権利者46名/共有者含む）
- ・事業認可 平成24年1月13日から令和5年3月31日迄
- ・平成22年度 路線測量概略設計8百万円（単費）
- ・平成23年度 用地測量設計・補償調査10件 20百万円
- ・平成24年度 用地226.01㎡・建物1棟・補償調査6件 50百万円
- ・平成25年度 用地1,767.25㎡・建物7棟 274百万円
- ・平成26年度 用地1,502.70㎡・建物2棟 180百万円
- ・平成27年度 用地805.79㎡・建物2棟 122百万円

- ・平成28年度 用地2,529.98m²・建物2棟 197百万円
- ・平成29年度 用地34.44m²・発電施設 63百万円
- ・平成30年度 用地4,451.51m²・建物1棟発掘3,336m² 320百万円
- ・令和元年度 用地1,069.41m² (基金買戻し含む)・電柱4本 28百万円
文化財調査5,553m²、報告書作成 105百万円
道路工事280m 104百万円

(2) 全体計画

- ・延長 L=515m・幅員3.25m×4車線 (全幅25m)
- ・事業費 1,773百万円
- ・事業認可期間 H23～R4年度 (認可期間7+延伸5=12年)
- ・内容 起業地面積12,455.12m²/建物17棟

○令和元年度まで

- ・事業費 1,471百万円 (社会資本整備総合交付金事業・街路)
- ・進捗率 83% 全体事業費と投入額の比率 (1,471/1,773)
- ・内容 測量設計・補償調査・買収面積12,387.09m²/建物15棟・道路工事

○令和2年度見込み

- ・事業費 186百万円 (補助25百万円+68百万円=93百万円)
- ・当初予算 136百万円 (補助68百万円)
- ・補正予算 50百万円 (補助25百万円、R元未契約繰越)
- ・進捗率 93% 全体事業費と投入額の比率 (1,657/1,773)
- ・内容 用地買収73.49m² (5件) /建物2件 26百万円
道路改良工事 (補正) L220m構造物等 50百万円
(現年) L515m舗装工 110百万円

○令和3年度見込み

- ・事業費 50百万円
- ・進捗率 96% 全体事業費と投入額の比率 (1,707/1,773)
- ・内容 文化財調査、報告書作成
電柱移転
交差点改良

○令和4年度見込み

- ・事業費 66百万円
- ・進捗率 100% 全体事業費と投入額の比率 (1,773/1,773)
- ・内容 交差点改良

(所感)

北部環状線の事業概要と進捗状況について執行部に説明を求め、担当職員から令和2年度の見込みで約93%の事業が進み、令和4年度からの供用開始ができると説明を受けました。この事業により、渋滞が慢性化している主要地方道藤岡本庄線の渋滞が緩和され、市内の交通網が充実し、地域の活性へと期待できます。しかし、路線の開通には道路隣接者の用地や建物等の協力をいただかねば成し遂げられないため、慎重に取り組んでいただきたいと思います。

また、北部環状線の起終点は、県道路線とのT字路交差点となり、前後の擦り付けにより渋滞が心配される箇所もありますので、しっかり交差点協議を進め、問題が起きない道路を完成していただきたいと思います。

なお、まだ用地交渉を行う部分もあるとのことですので、十分な説明を行いながら進めることを求めます。早期の開通と市民の方に迷惑の掛からないよう配慮した工事の施工を期待いたします。



第1委員会室にて説明を受ける



現地調査



現地調査



現地調査

2、土と火の里公園について

(1) 施設概要

土と火の里公園は、山間過疎等の問題を抱えた日野・高山地域の活性化を図るため、かみの里（みかぼ森林公園）、なかの里（土と火の里公園）、しもの里（二千階段）の三拠点施設の建設を中心とした、日野・高山振興計画（昭和61年策定）に基づき建設された。

この施設は、外観を周辺の景観とマッチするように配慮し、約18,000㎡の敷地内に工芸体験ゾーン、自然体験ゾーン、駐車場ゾーンの三つのゾーンを設け、「森と清流の中の工芸体験村」のように造成されている。

施設名の「土」と「火」は本市の歴史的な遺産である埴輪窯跡、国分寺瓦窯跡などと密接な関係があることから用いられたもので、地場産業の「藤岡瓦」もこれらの技術が受け継がれてきたものである。

メインとなる工芸体験ゾーンには、地元の藤岡瓦を取り入れた純和風の陶芸工房、染色工房、ガラス工房、多目的（瓦、竹）工房の4つの工房が設けられ、休日を中心に専門家の指導により初心者から子ども、大人まで工芸体験が楽しめるほか、作家の創作活動の見学なども自由にできる。

また、自然体験ゾーンは、約3,700㎡のBBQ広場を中心とした施設で、春には桜やツツジなどがきれいに咲き誇る。

その他、管理事務所と展示室を備えた本館、工芸作家の作品や物産などを販売する売店、食堂、水車と池を配した庭園などがある。駐車ゾーンには普通車80台、大型バス3台が収容できる駐車場のほか、公衆トイレが設置されている。

(2) 施設運営経緯

- ・平成5年7月31日（土）開園後、市直営による運営が行われる。
- ・平成21年3月31日をもって市直営による施設運営が終了する。
- ・平成21年4月1日から指定管理者制度を導入し、指定管理者として「土と火の里工芸会」による運営が行われる。
- ・平成30年3月31日まで計9年間、「土と火の里工芸会」が指定管理者として運営。
- ・平成30年4月1日から市直営による運営で現在に至る。

(3) 指定管理者の募集状況

土と火の里公園については平成30年度から市直営の運営を行っている。令和3年度から指定管理者制度へ移行できるよう令和2年1月から9月まで事務を行っていたが応募者がなかったため、令和3年度についても引き続き市直営による管理運営を行うこととなった。

指定管理者の募集については、広報や市ホームページでの周知はもちろん、全国で指定管理を請け負っている企業5社を訪問し交渉を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響で企業活動がストップしていた等のことから話を進めることができなかった。

なお、令和4年度から指定管理者制度へ移行できるよう、指定管理料を含め募集要項について検討作業を進めていきたいとのことであった。

(4) 新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月29日(土)～3月31日(火)及び、4月9日(木)～5月31日(日)まで休園となった。再開後も昨年に比べると入場者数・体験者数ともに減少し、8月に関しては昨年の約半数となっており、新型コロナウイルス感染症の影響と考えられる。

しかし、BBQ広場においては、年に一度旅行等をしているスポーツ団体などが新型コロナウイルス感染症の影響で遠出ができないため、近場で済ませようということで使用したり、家族連れが使用したりと9月上旬くらいまでは一定の入場者はあった。

今後は、教育活動の場として使っていただいたり、市外の方だけではなく市内の方にも訪れてもらえるよう、広報やホームページ等で魅力を発信していきたいと考えているとのことであった。

令和2年度			
	開園日数	入場者数	体験者数
4月	7	529	20
5月	0	0	0
6月	25	1,299	156
7月	27	1,877	358
8月	27	2,412	687
9月	26	976	382
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			
計	112	7,093	1,603

※4月9日(木)～5月31日(日)まで休園。

令和元年度			
	開園日数	入場者数	体験者数
4月	27	3,666	406
5月	27	5,637	802
6月	26	1,726	225
7月	26	2,198	529
8月	28	5,669	1,095
9月	25	2,201	539
10月	24	2,317	386
11月	26	2,444	344
12月	20	1,529	122
1月	22	1,456	228
2月	24	1,065	252
3月	0	39	119
計	275	29,947	5,047

※2月29日(土)～3月31日(火)まで休園。

ただし、事前に予約が入っていたもののみ受付を行ったが、休園扱いのため開園日数は0とする。

(所感)

新型コロナウイルス感染症の影響についてと指定管理者の募集状況について説明を求めました。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言で3月から5月は休園されており入場者は例年の6%以下であったと説明を受けました。また、それ以降は、例年より低い入場者数で経営には厳しい現状と感じ、今後の指定管理制度で委託を行うのには大変な施設だと思いました。

このような状況の中、指定管理者の公募がされており問い合わせ等の状況を聞いたところ応募者はいないと聞き、今後の施設の方向性が心配されるようです。しかし、担当職員の

アイデアと努力を重ね、土と火の里公園のイベントや営業を行い経営の改善を図ってまいりました。その中でも夏祭りの工房イベントや自然体験ゾーンにBBQ広場を設け、集客を図ってまいりました。

今後は、単体の施設で集客を求めるのには厳しいため、市内の施設や観光地とコラボして藤岡の魅力を紹介できる計画を行い、観光客を呼び込む動線を描くことが必要と思います。山の南には、三波川の冬桜や三波石峡、下久保ダム等があることから、それらを総合的に考え、観光産業の充実を期待します。



土と火の里公園にて説明を受ける



染色工房



陶芸工房



ガラス工房

以上のとおり、報告致します。

令和2年10月26日

経済建設常任委員会

委員長 針谷賢一

副委員長 野口靖

委員 関口茂樹

丸山保

橋本新一

冬木一俊